

1991年(平成3年)

12月15日号

No. 603

広報あしや

市花
コバノミツハツシ



発行

芦屋市役所 (公聴広報課)

☎0797-31-2121

〒659 兵庫県芦屋市精道町7番6号

毎月1日・15日発行

●●●●ご用はお早目に●●●●

市役所は年内



◆燃えるごみ(曜日が異なるのでご注意ください)

収集地区	年末(最終)	年始(最初)
月・水・金地区	12月29日(日)	1月6日(月)
火・木・土地区	12月30日(月)	1月4日(土)

◆燃えないごみ

収集地区	年末(最終)	年始(最初)
月曜日地区	12月23日(月)	1月6日(月)
火曜日地区	12月24日(火)	1月7日(火)
水曜日地区	12月25日(水)	1月8日(水)
木曜日地区	12月26日(木)	1月9日(木)
金曜日地区	12月27日(金)	1月10日(金)

◆不燃性資源ごみ(芦屋浜)

収集地区	年末(最終)	年始(最初)
浜風町	12月23日(月)	1月6日(月)
緑町	12月25日(水)	1月8日(水)
若葉町	12月27日(金)	1月6日(月)
高浜町	12月27日(金)	1月6日(月)
潮見町	12月27日(金)	1月10日(金)
新浜町	12月25日(水)	1月8日(水)

◆大型ごみ

年末は、12月28日(土)まで通常のサイクルで収集します。年始は、1月6日(月)から収集します。

◆年末の特別収集

申し込みは、12月25日(水)までに環境サービス課へ。収集最終日は12月30日(月)です。

以上問い合わせは、市環境サービス課(☎22155)へ。

◆環境処理センターへの持ち込み

年末は、12月31日(火)正午まで(29日、30日午後4時30分まで)。年始は1月4日(土)午前9時から12時30分まで。

◆芦屋浜住宅団地パイプライン輸送

年末は、12月31日(火)正午まで。年始は、1月4日(土)午前9時から。年末年始はふだんよりごみが多いため長時間投入できないことがあります。

特に31日(火)は混雑が予想されますので30日(月)までに計画的に投入してください。

以上問い合わせは、市環境施設課(☎5391)へ。

燃えるごみ年内最終は
月・水・金地区 12/29(日)
火・木・土地区 12/30(月)

市役所は年末二十七日(金)まで、年始は一月四日(土)から、業務を行います。特に年末は、例年市民課窓口などが大変混雑しますので、ご用はお早めにおすませください。また、各施設の年末年始の予定は下表のとおり

年末年始のお知らせ ごみの収集日などご確認を

市役所は年末二十七日(金)まで、年始は一月四日(土)から、業務を行います。特に年末は、例年市民課窓口などが大変混雑しますので、ご用はお早めにおすませください。また、各施設の年末年始の予定は下表のとおり

【火葬場】
〈年末〉十二月二十八日(土)、二十九日(日)は休業。三十日(月)、三十一日(火)は平常業務。
〈年始〉一月一日(水)休業。二日(木)は平常業務。三日(金)休業。四日(土)から平常業務。
【死獣の引き取り】
〈年末〉十二月二十九日(日)から三十一日(火)までの受け付けは、午前九時から十時三十分まで。引き取り収集は正午まで。
〈年始〉十二月三十一日(火)午前十時三十分から一月四日(土)午前十時三十分までの受け付けは、四日に収容。

おもな施設のカレンダー

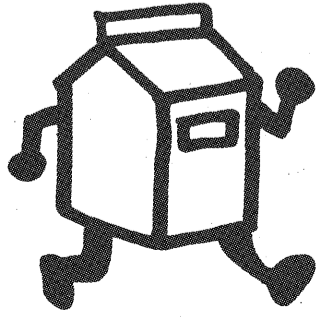
12月21日～1月6日 ○は開館、×は休館、△は受付業務のみ

施設名	日・曜日	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月	31火	1水	2木	3金	4土	5日	6月
市役所窓口	☎③2121	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○
ラポルテ市民サービスコーナー	☎③3130	○	△	△	○	○	○	○	△	△	△	△	×	×	△	○	△	○
市民センター	☎③4995	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
公民館図書室	☎③4995	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○
集会所(打出、竹園、朝日ヶ丘、潮見、奥池)		○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
集会所(翠ヶ丘、前田、春日、浜風、西藏)		○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
集会所(大原)		○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	○	○	○
体育館・青少年センター	☎③8228	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
美術博物館	☎③5432	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
谷崎潤一郎記念館	☎③5852	○	○	○	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×
図書館	☎③2301	○	○	×	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
打出教育文化センター	☎③7130	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
福祉会館・老人福祉会館	☎③7530	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○
三条老人憩いの家	☎③3098	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○

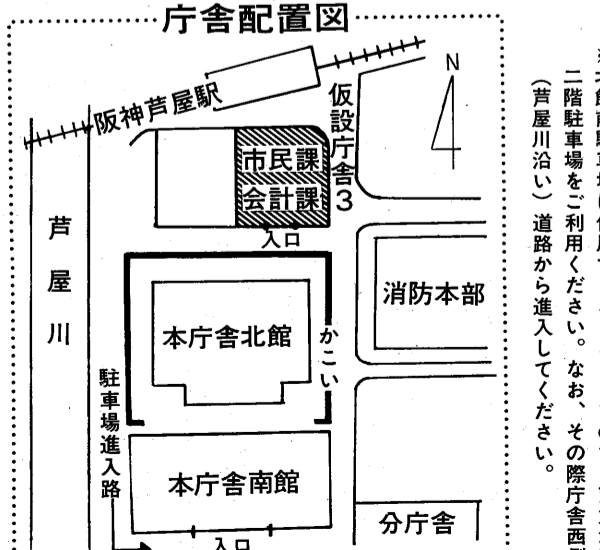
※ラポルテ市民サービスコーナーでの12月28日～31日、1月3日の受け付けは1月4日以降の発行になります。

12月24日～

市民課・会計課が移転します。



市役所本庁舎北館改造工事のため、十二月二十四日(火)から、市民課と会計課が右図の場所(仮設庁舎3)に移転します。工事期間は、平成四年一月から同年十月末までです。市民の皆さまには何かとご不便をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。



※北館前駐車場は使用できなくなりますので、南館地下二階駐車場をご利用ください。なお、その際庁舎西側(芦屋川沿い)道路から進入してください。

基礎・基本の学力に根ざした 意欲を育てる教育の充実を

学校教育の指針となる学習指導要領が改訂されました。新学習指導要領では自ら学ぶ意欲を持ち、社会の変化に主体的に対応できる能力の育成を図るとともに、基礎的・基本的な内容の指導の徹底と一人ひとりの個性を生かし伸ばす教育が求められています。

新学習指導要領に基づき、若狭市の各小学校ではこれに対応した教育活動を展開したり計画を立てたりしています。ここにその取り組みの一端を紹介いたします。

基礎学力を身に付ける

今回の学習指導要領の改訂によって、暗記中心の学力よりも、自ら学ぶ意欲や態度を育てるとともに、基礎・基本の学力を向上させることに重点が置かれることになりました。

去る十月二十五日に三条小学校で十二回目の授業研究発表会が開かれました。

視聴覚機器を活用して

開校以来同校が一貫して研究してきた「自己教育力」(学習の仕方を学び取る力)を育てる教育の実際を学ぼうと、県下各地はもとより広く県外からも大勢の参観者がありました。

精道・山手・潮見中学校では教科指導や生徒指導等に生かそうと、研究の進んでいる学校を訪問する機会を増やしています。また、市内各校では



生活科の授業研究(三条小)

使える教育の充実を図っています。中学校では、新学習指導要領で技術・家庭科にコンピュータが導入されています。これに伴い、二



コンピューターを使って(打出浜小)

打出浜小学校では算数や家庭科、クラブ活動の時間を中心にコンピュータを用いた授業を続けています。これによって、自ら筋道立てて考える力を養っているのです。子どもは情報処理能力をさらに高めようとして新しいソフトを購入し、教科を広げて使用したり低学年児童も使用できるようにしたりして、子ども一人ひとりがコンピュータを

使える教育の充実を図っています。中学校では、新学習指導要領で技術・家庭科にコンピュータが導入されています。これに伴い、二



職員で花づくり(浜風小)

朝日ヶ丘小学校などでは余裕教室を利用して畳の部屋を新設します。ここでは新たに生活科の学習が行われ、広い空間を活用して、創作活動や発表会に使っていきます。

子ども自ら見、調べ、探し、作り、育て、遊ぶといった体験学習が、自ら考え、試みたり、判断したり、表現したりする主体的な学習活動を生み出すのです。この趣旨が、来年度から小学校一

体験学習の充実を

浜風小学校では夏休みを利用して、職員作業で中庭に六つの大きな花壇を造りました。また、潮見小学校では広い学習園を改良し、よく作物が育つ土地にしようと、職員の手で環境整備をすすめています。子どもたちがすすんで苗を育て、草花を育て観察できる場づくりなのです。

国際理解教育の充実を

婦国子女教育を長年積み重ねている精道小学校では、婦国子女が海外で得た経験・知識を生かせるように援助したり、アメリカ合衆国シカゴ市のマリー校の児童を招いたりカナディアアンアカデミーとの相互訪問等により、異文化を理解する機会を豊富に持っています。

平成四年一月二十九日には文部省指定の婦国子女教育研究協力校として研究発表会を開催し、成果を公開します。

また、山手小学校では地域のかたがたの協力を

創意ある取り組みが

潮見中学校では名画十七点を集めた「潮見アートギャラリー」がオープンしました。名画を優れた複製画で身近に鑑賞するうちに「美しい、素晴らしい……」と感じる豊かな

やめようよ かるい気持ちの
さすつけ言葉

三条小学校 五年 熊谷 恵さん
(「差別をなくそう県民運動」応募作品)

宮川コミスク 国際スポーツフェスティバル スポーツで広がる 地域の輪



紅白玉入れ

十月二十七日(日)、第三回宮川コミスク国際スポーツフェスティバルが宮川小学校体育館で開催されました。

宮川コミスク(打出小榎町・宮塚町・若宮町・宮川町・浜町・西蔵町・呉川町の地域)約四百人のかたがたや海技大学校(西蔵町)で研修中のフイリピン、インドネシア両国の留学生七十五人等が参加し、綱引きや紅白玉入れなどの競技を一緒に楽しみました。

今回のスポーツフェスティバルを通して、海技大学の留学生と、地域の人びととの国際交流の輪が広がっています。



マリー校の子たちと鶴を折る(精道小)

科・社会に代わって実施される生活科に特に生かされています。この生活科を実施するにあたって環境整備と研究が各学校ですすめられています。

また、宮川小学校では郷土学習に役立てようと市民のかたがたに寄贈していただいた千刃こき・箕(み)・石臼などを展示している部屋をさらに整備し、児童が活用できるようにします。



いつでも名画の鑑賞を(潮見中)

このページは市教育委員会が編集しています。内容についてのお問い合わせは市教委学校教育課(☎2087)まで。

発表 歌・舞踊 作品展などで

六回目を迎えたコミスクニテイ・スクール合同文化祭が、十一月十八日、二十一日から二十三日まで行われました。

十八日は、舞台発表、なかなか雰囲気の中でコーラス、舞踊などの発表。二十一日から二十三日は、絵画、彫刻、陶芸、手芸、書道、生け花など九百点と広範囲に腕を競い、日頃の練習の成果を披露しました。年々高度な発表になり、来年が今から楽しみです。

ゆとりと心豊かな生き方が求められている現在、コミスクニテイ・スクールで地域の人々とのふれあいや交流が心の生活の糧となります。

みなさんも、コミスク活動に参加してみませんか。



「アロちゃんだより」
楽しい話題、ユニークな
活動をご紹介します。

